

# 光一中だより

## 教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校  
校長 山谷 安雄  
令和4年度 第6号  
令和4年10月12日

## 文化発表会・合唱コンクールにむけて

校長 山谷 安雄

今年の季節の変化は今までになく突然やってきました。30度を超える日から雨を境に初秋ではなく初冬を思わせる気温になりました。さて、学校では3年生が修学旅行に行ってきました。コロナ感染を心配するなかで病気や事故もなく終わることができました。3年生は、京都・奈良のすばらしさを見て感じるができたと思います。しかし、私の経験でも、数年後に思い出したときは、友達と過ごした中身の濃い3日のほうが印象深いと思います。

ところで、文化発表会・合唱コンクールが10月28日（金）に計画されています。本校の体育館での開催です。運動会のように規制なしでの開催は難しいところです。今の段階でできるだけ多くの皆様に鑑賞していただけることを考えています。生徒会では「響け絆の音色！」をスローガンに掲げています。スローガンのもと学年練習がスタートしました。3年ぶりの開催です。新たな一歩と言ったほうが良いです。まず、各クラス自由曲を一つ作り上げてほしいと思います。本気になって取り組むときっといろいろなことが起こると思います。自分たちで解決しなければいけないことがきっと起こってきます。投げ出さず、クラス全員で歌える楽しさ喜びを見つけ出せると嬉しいです。

さて、あるコラムを読んでいた時に、ある子育ての一言アドバイスに「中途半端に耐えられる人間に育てましょう。」と言うものがありました。さらに（人間関係では中途半端なことの方が多いのです。しかし、完璧を求めて、親が多くの場面で援助してしまうことがあります。そして、親にかばってもらって育った多くの子が、ちょっとしたことで挫折しています。親がかばってやれる期間は、意外に短いのです。）と書いてありました。学校の行事では、教科では学ぶことができない様々なことを、生徒達は体験することができます。自分たちで作る中で、友達との葛藤や協力や喜びや感情の衝突が当然あります。最終的に子ども達は、成人し独立して一人で生きていかなければなりません。親がかばうべき時、自分で解決すべき時バランス感覚が大事です。ある意味で、中途半端がベターな時がけっこうあります。年長者としてアドバイスをしてほしいところです。